

東京2020 オリンピックへ向けて

ブリタン王国 寄居町に オリンピック チームが やってきました。



※オリンピックチーム
陸上選手3人、陸上競技連盟コーチ2人、
ブリタンオリンピック委員会スポーツ調査部
長官・職員



▲ようこそ！ 寄居へ。
歓迎する男衾小学校の児童たち。

訪問日程

5月17日(水)	寄居町へ移動
18日(木)	役場訪問、オリエンテーション 男衾小学校訪問 トレーニング
19日(金)	寄居城北高校、県庁訪問 トレーニング ホストファミリー宅にホームステイ
20日(土)	交流イベント「為末大さんの親子陸上教室」 ホストファミリー宅にホームステイ
21日(日)	寄居町出発 陸上大会視察
22日(月)	帰国

男衾小学校での交流

5月18日、オリンピックチームは男衾小学校を訪れ、体育館で全校児童による歓迎セレモニーが行われました。その後、写真家の関健作さんとブリタンの陸上選手3人が先生になり、6年生を対象にブリタンの文化についての授業を行いました。児童たちは、ブリタンの民族衣装の試着体験を楽しみ、スポーツや食文化などの説明に熱心に耳を傾けていました。

授業後は、6年生の教室で一緒に給食を食べながら、児童からの質問に答えたり、サインや握手のリクエストに応じたりと、にぎやかな交流となりました。

教育分野での交流に向けて

5月19日には、オリンピックチームに同行するブータン・ティンプルー市にあるヤンチェンブー高校のカルマ・ドゥクパ校長が、寄居城北高校を訪問しました。校内を視察した後、田中校長や生徒会の皆さんと、両校の特色や日本とブータンの学校の違いなどについて情報交換しました。

帰国に当たり、カルマ校長から「私の学校の生徒や教員も、交流を始められたらと願っています」と今後の交流に前向きなお言葉をいただきました。

為末大さんの親子陸上教室

5月20日には、三ヶ山緑地公園で、為末大さん指導による町内の小学1〜3年生とその保護者を対象とした、親子陸上教室が開催されました。

参加した皆さんは、為末さんによるユニークな指導や、ブータン選手との交流を楽しんでいました。参加した児童からは「今日はとても楽しかったです」

す。ブリタンの選手は、走るのがとても速くてびっくりしました」などの声が聞こえました。

選手たちのホームステイ

選手たちは、5月19日と20日の夜に、町内のご家庭にホームステイをしました。選手たちにとっては日本文化を知るよい機会に、ホストファミリーにとってはブリタンを身近に感じるよい機会になりました。

ブリタン王国との交流を続けます

町では、2020年に向け、スポーツ交流だけでなく、同国とさまざまな人的・文化的交流も進めていきますので、皆さんのご協力をお願いします。町を挙げてブリタンオリンピックチームを応援し、寄居町を盛り上げていきたいと思います。

■問い合わせ
総合政策課 ☎581・2121 内線463



▲両校の交流を願って
しっかりと握手。



▶よいいどん！
為末さんの指導で元気に走る児童たち。

※この事業は、埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けています。

選手に
聞いた!

訪問を終えて… 感想とこれからの意気込みをどうぞ!



ペマ・ティンレー選手
19歳、ティンプルー市出身
種目:100m・200m

日本に来るのは初めてで、毎日が驚きの連続でした。寄居町には山があり、自然が豊かでまるでブータンのようで、寄居町が大好きになりました。為末さんやコーチたちからいろいろなことを教えていただき、また一から頑張りたいと思いました。



ディネシュ・クマル・ダガル選手
21歳、ティンプルー市出身
種目:100m・200m

寄居町の皆さんは私をまるで家族のように迎えていただき、寄居町が僕の一番好きな町になりました。為末さんや寄居町の皆さんのおかげでモチベーションが一気に上がりました。皆さんの期待に応えられるように頑張りたいです。



タシ・デンドゥップ選手
19歳、ティンプルー市出身
種目:100m・走幅跳

昨年に引き続き、寄居町に来るのは2回目です。皆さんと再会できたことが本当にうれしかったです。男衾小学校では、僕をスターのように扱っていただき、感激しました。これからも努力を続けますので、応援よろしくをお願いします。